

令和6年度

十和田市病院事業会計  
決算審査意見書

## 凡 例

- 1 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。  
比率が1,000%以上となる場合は、\*\*\*印で表示し、具体的数値を掲げないこととした。
- 2 構成比率は、合計が100.0となるよう一部調整した。
- 3 各表中の用例は、次のとおりである。
  - 「0.0」 …… 該当数値はあるが単位未満のもの(0を含む。)
  - 「△」 …… 減数又は負数
  - 「―」 …… 該当数値のないもの又は算出不能のもの

十市監委第 52 号  
令和 7 年 8 月 7 日

十和田市長 櫻 田 百合子 様

十和田市監査委員 森 田 幸 夫

十和田市監査委員 岩 間 貴

令和 6 年度十和田市病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき審査に付された令和 6 年度十和田市  
病院事業会計決算について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## I 審査の概要

1 審査の対象	病院	1
2 審査の期間	病院	1
3 審査の方法	病院	1

## II 審査の結果

1 予算執行状況		
(1) 収益的収入及び支出	病院	2
(2) 資本的収入及び支出	病院	3
2 経営状況		
(1) 経営成績	病院	4
(2) 業務実績	病院	4
3 財政状態		
(1) 資産	病院	5
(2) 負債	病院	5
(3) 資本	病院	6
(4) 財政の分析	病院	6
(5) 経営指標に関する分析	病院	6
(6) キャッシュ・フローの状況	病院	6

III 審査意見	病院	8
----------	----	---

## IV 別表資料

第1表 予算決算比較表	病院	9
第2表 収益的収支比較表	病院	11
第3表 費用使途別比較表	病院	13
第4表 業務実績表	病院	15
第5表 診療科別患者数・診療収益比較表	病院	17
第6表 貸借対照表比較表	病院	19
第7表 経営分析表	病院	21
第8表 経営指標に関する分析表	病院	23

# I 審査の概要

## 1 審査の対象

令和6年度十和田市病院事業会計決算

## 2 審査の期間

令和7年6月2日から令和7年8月7日まで

## 3 審査の方法

この審査に当たっては、提出された決算報告書、財務諸表、その他附属書類が関係法令に準拠して作成され、かつ当事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか否かを確認するため、諸帳簿及び証書類との照合や担当職員の説明を聴取するなどの審査を実施した。

## Ⅱ 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、その他附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、当事業の当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

### 1 予算執行状況（別表資料 第1表参照）

#### (1) 収益的収入及び支出

##### 〔収入〕

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率	決 算 額 構 成 比 率
	円	円	円	%	%
病 院 事 業 収 益	8,923,693,000	8,738,679,511	△ 185,013,489	97.9	100.0
医 業 収 益	7,680,361,000	7,481,128,507	△ 199,232,493	97.4	85.6
医 業 外 収 益	1,204,926,000	1,250,130,131	45,204,131	103.8	14.3
特 別 利 益	38,406,000	7,420,873	△ 30,985,127	19.3	0.1

##### 〔支出〕

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	決 算 額 構 成 比 率
	円	円	円	%	%
病 院 事 業 費 用	10,295,733,000	9,802,524,326	493,208,674	95.2	100.0
医 業 費 用	9,842,027,000	9,357,185,150	484,841,850	95.1	95.4
医 業 外 費 用	445,504,000	438,206,064	7,297,936	98.4	4.5
特 別 損 失	8,202,000	7,133,112	1,068,888	87.0	0.1

収益的収入の決算額は、8,738,679,511円で執行率が97.9%、収益的支出の決算額は、9,802,524,326円で執行率が95.2%、不用額は、493,208,674円となっている。

収入の構成比率は、医業収益が85.6%、医業外収益が14.3%、特別利益が0.1%となり、支出の構成比率は、医業費用が95.4%、医業外費用が4.5%、特別損失が0.1%となっている。

## (2) 資本的収入及び支出

## 〔収入〕

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率
	円	円	円	%
病院事業資本的収入	932,293,000	919,043,000	△ 13,250,000	98.6
企業債	261,200,000	252,000,000	△ 9,200,000	96.5
負担金	671,093,000	665,243,000	△ 5,850,000	99.1
長期貸付金返還金	—	1,800,000	1,800,000	—

## 〔支出〕

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率
	円	円	円	%
病院事業資本的支出	1,339,723,000	1,320,251,073	19,471,927	98.5
建設改良費	289,965,000	272,293,874	17,671,126	93.9
企業債償還金	1,046,158,000	1,046,157,199	801	100.0
長期貸付金	3,600,000	1,800,000	1,800,000	50.0

資本的収入の決算額は、919,043,000円で執行率が98.6%、資本的支出の決算額は、1,320,251,073円で執行率が98.5%、不用額は19,471,927円となっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額401,208,073円は、消費税及び地方消費税調整額796,037円で補填し、一時借入金400,412,036円で措置している。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績 (別表資料 第2表参照)

総収益	8,706,406,769 円
総費用	9,776,647,081 円
純損失	1,070,240,312 円

当年度の経営成績は、1,070,240,312円の純損失(前年度は 631,355,057円の純損失)となり、収支比率は、前年度より 4.2ポイント低下して 89.1%となっている。

最近2か年の経営成績の状況は、次表のとおりである。

#### 経営成績の状況

項目	年度	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度	
				増減	増減率
総収益 (A)		8,706,406,769 円	8,760,677,599 円	△ 54,270,830 円	△ 0.6 %
総費用 (B)		9,776,647,081 円	9,392,032,656 円	384,614,425 円	4.1 %
純損失 (A)-(B)		1,070,240,312 円	631,355,057 円	438,885,255 円	69.5 %
収支比率 (A)/(B)		89.1 %	93.3 %	△ 4.2 ポイント	—

#### ① 収益

総収益は 8,706,406,769円 で、前年度と比較して 54,270,830円 (0.6%) の減少となっている。これは、医業収益は 141,175,847円 (1.9%) 増加したが、医業外収益が 121,923,200円 (9.0%)、特別利益が 73,523,477円 (90.8%) 減少したことによる。

#### ② 費用

総費用は 9,776,647,081円 で、前年度と比較して 384,614,425円 (4.1%) の増加となっている。これは、特別損失が 5,044,770円 (41.5%) 減少したが、医業費用が 372,218,421円 (4.2%)、医業外費用が 17,440,774円 (3.0%) 増加したことによる。

### (2) 業務実績 (別表資料 第4表参照)

診療の状況は、次表のとおりである。

#### 診療状況

項目	年度	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度	
				増減	増減率
年間延患者数	入院	81,803 人	82,651 人	△ 848 人	△ 1.0 %
	外来	138,691 人	133,638 人	5,053 人	3.8 %
	合計	220,494 人	216,289 人	4,205 人	1.9 %
病床利用率		69.4 %	61.2 %	8.2 ポイント	—

年間延入院患者数は 81,803人で、前年度より 848人(1.0%)減少となり、年間延外来患者数は 138,691人で、前年度より 5,053人(3.8%)増加となっている。

病床利用率は、前年度より 8.2ポイント上昇して 69.4%となっている。

### 3 財 政 状 態 (別表資料 第6表、第7表、第8表参照)

#### (1) 資 産

資産の期末現在高は 8,852,605,735円で、内訳は固定資産 7,336,215,809円、流動資産 1,516,389,926円となり、前年度と比較して 349,996,270円(3.8%)の減少となっている。

##### ① 固 定 資 産

固定資産は、前年度と比較して 520,413,156円(6.6%)の減少となっている。これは、主に有形固定資産が 520,338,688円(6.6%)減少したことによる。

##### ② 流 動 資 産

流動資産は、前年度と比較して 170,416,886円(12.7%)の増加となっている。これは、貯蔵品が 814,008円(0.7%)減少したが、未収金が 166,093,564円(13.7%)、現金預金が 5,137,330円(56.9%)増加したことによる。

#### (2) 負 債

負債の期末現在高は 13,209,659,689円で、内訳は固定負債 8,745,346,007円、流動負債 3,846,788,454円、繰延収益 617,525,228円となり、前年度と比較して 720,244,042円(5.8%)の増加となっている。

##### ① 固 定 負 債

固定負債は、前年度と比較して 749,426,398円(7.9%)の減少となっている。これは、リース債務が 31,828,134円(242.3%)増加したが、企業債が 775,133,532円(9.1%)、引当金が 6,121,000円(0.6%)減少したことによる。

##### ② 流 動 負 債

流動負債は、前年度と比較して 1,323,345,864円(52.4%)の増加となっている。これは、企業債が 19,023,667円(1.8%)、その他流動負債が 15,651,778円(24.8%)減少したが、一時借入金 1,210,000,000円(186.2%)、未払金 71,535,948円(14.8%)等が増加したことによる。

##### ③ 繰 延 収 益

繰延収益は、前年度と比較して 146,324,576円(31.1%)の増加となっている。

### (3) 資 本

資本の期末現在高は、△4,357,053,954円で、内訳は資本金が100,000,000円、剰余金が△4,457,053,954円となり、前年度と比較して1,070,240,312円(32.6%)の減少となっている。

#### ① 資 本 金

資本金は、前年度と同額の100,000,000円で、固有資本金のみである。

#### ② 剰 余 金

剰余金は、前年度と比較して1,070,240,312円(31.6%)の減少となっている。これは、当年度未処理欠損金が増加したことによる。

### (4) 財 政 の 分 析

分析の資料により、その主なものを述べると次のとおりである。

財務比率のなかで、固定資産の調達と自己資本及び固定負債との関係を示す固定資産対長期資本比率は、前年度より40.6ポイント上昇して167.2%となっている。また、短期負債の支払能力を測定する流動比率は、前年度より13.9ポイント低下して39.4%となっている。

### (5) 経 営 指 標 に 関 す る 分 析

分析の資料により、その主なものを述べると次のとおりである。

経常収支比率は、前年度より3.5ポイント低下して89.0%となっている。修正医業収支比率は、前年度と同様の79.2%となっている。また、病床利用率は、前年度より、8.2ポイント上昇して69.4%となっている。

### (6) キャッシュ・フローの状況

業務活動によるキャッシュ・フローは821,724,139円の資金流出、投資活動によるキャッシュ・フローは430,202,882円の資金流入、財務活動によるキャッシュ・フローは396,658,587円の資金流入となりその結果、当期における資金増加額は5,137,330円、資金期末残高は14,167,989円となっている。

当年度のキャッシュ・フローの状況は次頁のとおりである。

# 令和6年度十和田市病院事業キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

## 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

(単位：円)

当年度純利益	△ 1,070,240,312
減価償却費	799,277,645
資産減耗費	9,394,508
引当金の増減額(△は減少)	60,858,475
長期前受金戻入額	△ 518,918,424
受取利息及び受取配当金	△ 67
支払利息	172,324,128
未収金の増減額(△は増加)	△ 160,765,563
未払金の増減額(△は減少)	63,914,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	814,008
その他流動資産の増減額(△は増加)	10,029,241
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 16,522,754
小計	△ 649,835,077
利息及び配当金の受取額	67
利息の支払額	△ 171,889,129
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 821,724,139</b>

## 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 235,040,118
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	665,243,000
長期貸付金の貸付による支出	△ 1,800,000
長期貸付金の返還による収入	1,800,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>430,202,882</b>

## 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入	11,860,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 10,650,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	252,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,046,157,199
ファイナンス・リース債務による支出	△ 19,184,214
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>396,658,587</b>

<b>資金増加額</b>	<b>5,137,330</b>
<b>資金期首残高</b>	<b>9,030,659</b>
<b>資金期末残高</b>	<b>14,167,989</b>

### Ⅲ 審 査 意 見

令和6年度の経営状況をみると、総収益は前年度に比べ 54,270,830円(0.6%)減の 8,706,406,769円で、総費用は前年度に比べ 384,614,425円(4.1%)増の 9,776,647,081円となっている。

この収支の結果、1,070,240,312円の当年度純損失を計上し、前年度の純損失額 631,355,057円に比べ、438,885,255円増加している。また、繰越欠損金についても、4,519,939,660円となり、累積欠損金比率は 60.58%と、依然として累積した欠損金を繰り越す厳しい状況となっている。

医療体制については、救急をはじめとした医療の提供・確保等に努めており、高精度放射線治療機器等による質の高いがん医療の提供や、在宅医療に特化した附属とわだ診療所の訪問診療にも注力している。また、令和6年4月からは、眼科において常勤医2名による診療体制の実施や、入院前に必要な情報の聞き取り及び入院説明を行う患者サポートセンターを設置したほか、休床中の病床46床を削減するなど、経営改善に向けた新たな対策を講じている。

医業収益については、前年度に比べ1日平均入院患者数が 1.7人減となったものの、入院外来を合わせた延患者数が 4,205人増加し 220,494人となったことから、141,175,847円(1.9%)増の 7,460,721,080円となっている。これは、前年度に比べ入院収益で 211,569,137円(4.6%)、外来収益で 121,789,817円(5.8%)の増となったことが主な要因となっている。

医業費用については、前年度に比べ 372,218,421円(4.2%)増の 9,176,779,107円となっている。これは、前年度に比べ資産減耗費で 19,913,010円(67.9%)の減となったが、給与費で 224,056,758円(4.7%)、経費で 102,706,081円(5.9%)の増となったことが主な要因となっている。

医業収益に対し、医業費用が大幅に増加したことから、医業損失は前年度に比べ 231,042,574円(15.6%)増の 1,716,058,027円となっている。更には、新型コロナウイルス感染症関連補助制度が無くなったことなどによる医業外収益の減が続いており、これらの影響を受け、資金不足額は、前年度より 1,171,952,645円(892.5%)増の 1,303,264,996円となった。地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率は、17.4%と経営健全化基準の20%に近づくまでに悪化しており、非常に厳しい経営状況に陥っている。

このような中で、令和6年度は、コロナ禍を脱した年度であったと認識している。コロナ禍以前の経営状況との比較において、医療機械器具や薬品並びに賃貸借・委託業務契約の精査を実施するなど、改めて経営の在り方を見直し医業収益と医業費用のバランスを考慮した経営改善に強く取り組む必要があるのではないだろうか。

上十三地域医療圏における中核病院として、安全で質の高い医療を提供する重要な役割を求められる中、医師・看護師不足や高齢化に伴う医療需要の変化への対応、老朽化した医療機器の更新や病院設備の改修に伴う経費の増大など、課題は山積している。総合診療科の充実などの特色を生かした診療体制や「上十三まるごとネット」を活用した病院間の機能分化の推進及び医療資源の集約化などを推進するとともに、需要に対して供給を合わせていくための思い切った取捨選択を行うなど、経営の安定化へ向けた対策を模索していただきたい。

# IV 別 表 資 料

## 第1表 予算決算比較表 (消費税及び地方消費税込み)

### (1) 収益的収入及び支出

[収入]

区 分	令和6年度			令和5年度			決算額の 対前年度 増減率
	予 算 額	決 算 額	執行率	予 算 額	決 算 額	執行率	
1 病院事業収益	円 8,923,693,000	円 8,738,679,511	%	円 10,081,017,000	円 8,793,362,222	%	%
1 医業収益	7,680,361,000	7,481,128,507	97.9	8,757,440,000	7,343,115,503	87.2	△ 0.6
2 医業外収益	1,204,926,000	1,250,130,131	97.4	1,284,157,000	1,369,299,289	106.6	△ 8.7
3 特別利益	38,406,000	7,420,873	19.3	39,420,000	80,947,430	205.3	△ 90.8

[支出]

区 分	令和6年度			令和5年度			決算額の 対前年度 増減率
	予 算 額	決 算 額	執行率	予 算 額	決 算 額	執行率	
1 病院事業費用	円 10,295,733,000	円 9,802,524,326	%	円 10,021,591,000	円 9,418,568,541	%	%
1 医業費用	9,842,027,000	9,357,185,150	95.2	9,550,568,000	8,975,030,867	94.0	4.1
2 医業外費用	445,504,000	438,206,064	95.1	454,593,000	431,365,365	94.9	4.3
3 特別損失	8,202,000	7,133,112	98.4	16,430,000	12,172,309	74.1	1.6
			87.0				△ 41.4

## (2) 資本的収入及び支出

## 〔収入〕

区 分	令和6年度			令和5年度			決算額の 対前年度 増減率
	予 算 額	決 算 額	執行率	予 算 額	決 算 額	執行率	
1 病院事業資本的収入	円 932,293,000	円 919,043,000	% 98.6	円 911,911,000	円 877,431,000	% 96.2	% 4.7
1 企業債	261,200,000	252,000,000	96.5	253,780,000	219,300,000	86.4	14.9
2 負担金	671,093,000	665,243,000	99.1	658,131,000	658,131,000	100.0	1.1
3 長期貸付金返還金	—	1,800,000	—	—	—	—	皆増

## 〔支出〕

区 分	令和6年度			令和5年度			決算額の 対前年度 増減率
	予 算 額	決 算 額	執行率	予 算 額	決 算 額	執行率	
1 病院事業資本的支出	円 1,339,723,000	円 1,320,251,073	% 98.5	円 1,279,578,000	円 1,249,331,303	% 97.6	% 5.7
1 建設改良費	289,965,000	272,293,874	93.9	260,196,000	229,950,167	88.4	18.4
2 企業債償還金	1,046,158,000	1,046,157,199	100.0	1,016,982,000	1,016,981,136	100.0	2.9
3 長期貸付金	3,600,000	1,800,000	50.0	2,400,000	2,400,000	100.0	△ 25.0

第2表 収益的収支比較表 (消費税及び地方消費税抜き)

[収 入]

科 目	令和6年度		令和5年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増 減 率
	円	%	円	%	円	%
病 院 事 業 収 益	8,706,406,769	100.0	8,760,677,599	100.0	△ 54,270,830	△ 0.6
医 業 収 益	7,460,721,080	85.7	7,319,545,233	83.6	141,175,847	1.9
入 院 収 益	4,846,843,340	55.7	4,635,274,203	52.9	211,569,137	4.6
外 来 収 益	2,219,837,710	25.5	2,098,047,893	24.0	121,789,817	5.8
そ の 他 医 業 収 益	394,040,030	4.5	586,223,137	6.7	△ 192,183,107	△ 32.8
医 業 外 収 益	1,238,271,235	14.2	1,360,194,435	15.5	△ 121,923,200	△ 9.0
受 取 利 息 及 び 配 当 金	67	0.0	30	0.0	37	123.3
補 助 金	26,602,000	0.3	200,557,000	2.3	△ 173,955,000	△ 86.7
他 会 計 負 担 金	346,614,000	4.0	338,212,000	3.9	8,402,000	2.5
他 会 計 補 助 金	216,035,000	2.5	206,228,000	2.3	9,807,000	4.8
保 育 所 収 益	2,879,000	0.0	2,922,145	0.0	△ 43,145	△ 1.5
患 者 外 給 食 収 益	6,347,156	0.1	5,172,970	0.1	1,174,186	22.7
長 期 前 受 金 戻 入 益	518,918,424	5.9	484,229,524	5.5	34,688,900	7.2
そ の 他 医 業 外 収 益	120,665,986	1.4	122,844,622	1.4	△ 2,178,636	△ 1.8
雑 収 益	209,602	0.0	28,144	0.0	181,458	644.7
特 別 利 益	7,414,454	0.1	80,937,931	0.9	△ 73,523,477	△ 90.8
過 年 度 損 益 修 正 益	1,292,754	0.0	728,351	0.0	564,403	77.5
長 期 前 受 金 戻 入 益	0	0.0	2,681,128	0.0	△ 2,681,128	皆減
引 当 金 戻 入 益	6,121,000	0.1	77,528,000	0.9	△ 71,407,000	△ 92.1
そ の 他 特 別 利 益	700	0.0	452	0.0	248	54.9
収 入 合 計 (A)	8,706,406,769	100.0	8,760,677,599	100.0	△ 54,270,830	△ 0.6

## 〔支 出〕

科 目	令和6年度		令和5年度		対 前 年 度	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
	円	%	円	%	円	%
病 院 事 業 費 用	9,776,647,081	100.0	9,392,032,656	100.0	384,614,425	4.1
医 業 費 用	9,176,779,107	93.9	8,804,560,686	93.8	372,218,421	4.2
給 与 費	4,951,591,815	50.7	4,727,535,057	50.4	224,056,758	4.7
材 料 費	1,556,709,845	15.9	1,480,801,209	15.8	75,908,636	5.1
経 費	1,832,757,869	18.7	1,730,051,788	18.4	102,706,081	5.9
経 営 審 議 会 費	84,540	0.0	91,280	0.0	△ 6,740	△ 7.4
減 価 償 却 費	799,277,645	8.2	808,237,547	8.6	△ 8,959,902	△ 1.1
資 産 減 耗 費	9,394,508	0.1	29,307,518	0.3	△ 19,913,010	△ 67.9
研 究 研 修 費	26,962,885	0.3	28,536,287	0.3	△ 1,573,402	△ 5.5
医 業 外 費 用	592,744,335	6.0	575,303,561	6.1	17,440,774	3.0
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	172,324,128	1.7	179,874,755	1.9	△ 7,550,627	△ 4.2
保 育 所 運 営 費	23,439,300	0.2	16,219,700	0.2	7,219,600	44.5
患 者 外 給 食 材 料 費	7,164,471	0.1	5,525,291	0.1	1,639,180	29.7
雑 支 出	353,797,036	3.6	330,283,815	3.5	23,513,221	7.1
そ の 他 医 業 外 費 用	36,000,000	0.4	20,000,000	0.2	16,000,000	80.0
雑 損 失	19,400	0.0	23,400,000	0.2	△ 23,380,600	△ 99.9
特 別 損 失	7,123,639	0.1	12,168,409	0.1	△ 5,044,770	△ 41.5
過 年 度 損 益 修 正 損	6,201,569	0.1	10,759,959	0.1	△ 4,558,390	△ 42.4
そ の 他 特 別 損 失	922,070	0.0	1,408,450	0.0	△ 486,380	△ 34.5
支 出 合 計 (B)	9,776,647,081	100.0	9,392,032,656	100.0	384,614,425	4.1
収 支 差 引 (A)-(B)	△ 1,070,240,312	—	△ 631,355,057	—	△ 438,885,255	69.5

第3表 費用使途別比較表 (消費税及び地方消費税抜き)

年 度 科 目	人 件 費						物 件 費
	令和6年度		令和5年度		対前年度		令和6年度
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増 減 率	金 額
	円	%	円	%	円	%	円
病院事業費用	4,951,675,815	50.7	4,727,625,057	50.4	224,050,758	4.7	4,824,971,266
医業費用	4,951,675,815	50.7	4,727,625,057	50.4	224,050,758	4.7	4,225,103,292
給与費	4,951,591,815	50.7	4,727,535,057	50.4	224,056,758	4.7	—
材料費	—	—	—	—	—	—	1,556,709,845
経費	—	—	—	—	—	—	1,832,757,869
経営審議会費	84,000	0.0	90,000	0.0	△ 6,000	△ 6.7	540
減価償却費	—	—	—	—	—	—	799,277,645
資産減耗費	—	—	—	—	—	—	9,394,508
研究研修費	—	—	—	—	—	—	26,962,885
医業外費用	—	—	—	—	—	—	592,744,335
支払利息及び 企業債取扱諸費	—	—	—	—	—	—	172,324,128
保育所運営費	—	—	—	—	—	—	23,439,300
患者外給食材料費	—	—	—	—	—	—	7,164,471
雑支出	—	—	—	—	—	—	353,797,036
その他医業外費用	—	—	—	—	—	—	36,000,000
雑損失	—	—	—	—	—	—	19,400
特別損失	—	—	—	—	—	—	7,123,639
過年度損益修正損	—	—	—	—	—	—	6,201,569
その他特別損失	—	—	—	—	—	—	922,070
合 計	4,951,675,815	50.7	4,727,625,057	50.4	224,050,758	4.7	4,824,971,266

(注) 1 科目は、損益計算書の科目による。

2 人件費は、「給料」、「手当」、「法定福利費」、「賃金」、「報酬」、「退職手当負担金」、「賞与引当金繰入額」、及び「法定福利費引当金繰入額」の合計額である。

及びその他の経費					合 計				
令和5年度		対前年度			令和6年度		令和5年度		対前年度
構成比	金 額	構成比	増 減 額	増 減 率	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 率
%	円	%	円	%	円	%	円	%	%
49.3	4,664,407,599	49.6	160,563,667	3.4	9,776,647,081	100.0	9,392,032,656	100.0	4.1
43.2	4,076,935,629	43.4	148,167,663	3.6	9,176,779,107	93.9	8,804,560,686	93.8	4.2
—	—	—	—	—	4,951,591,815	50.7	4,727,535,057	50.4	4.7
15.9	1,480,801,209	15.8	75,908,636	5.1	1,556,709,845	15.9	1,480,801,209	15.8	5.1
18.7	1,730,051,788	18.4	102,706,081	5.9	1,832,757,869	18.7	1,730,051,788	18.4	5.9
0.0	1,280	0.0	△ 740	△ 57.8	84,540	0.0	91,280	0.0	△ 7.4
8.2	808,237,547	8.6	△ 8,959,902	△ 1.1	799,277,645	8.2	808,237,547	8.6	△ 1.1
0.1	29,307,518	0.3	△ 19,913,010	△ 67.9	9,394,508	0.1	29,307,518	0.3	△ 67.9
0.3	28,536,287	0.3	△ 1,573,402	△ 5.5	26,962,885	0.3	28,536,287	0.3	△ 5.5
6.0	575,303,561	6.1	17,440,774	3.0	592,744,335	6.0	575,303,561	6.1	3.0
1.7	179,874,755	1.9	△ 7,550,627	△ 4.2	172,324,128	1.7	179,874,755	1.9	△ 4.2
0.2	16,219,700	0.2	7,219,600	44.5	23,439,300	0.2	16,219,700	0.2	44.5
0.1	5,525,291	0.1	1,639,180	29.7	7,164,471	0.1	5,525,291	0.1	29.7
3.6	330,283,815	3.5	23,513,221	7.1	353,797,036	3.6	330,283,815	3.5	7.1
0.4	20,000,000	0.2	16,000,000	80.0	36,000,000	0.4	20,000,000	0.2	80.0
0.0	23,400,000	0.2	△ 23,380,600	△ 99.9	19,400	0.0	23,400,000	0.2	△ 99.9
0.1	12,168,409	0.1	△ 5,044,770	△ 41.5	7,123,639	0.1	12,168,409	0.1	△ 41.5
0.1	10,759,959	0.1	△ 4,558,390	△ 42.4	6,201,569	0.1	10,759,959	0.1	△ 42.4
0.0	1,408,450	0.0	△ 486,380	△ 34.5	922,070	0.0	1,408,450	0.0	△ 34.5
49.3	4,664,407,599	49.6	160,563,667	3.4	9,776,647,081	100.0	9,392,032,656	100.0	4.1

第4表 業務実績表 (消費税及び地方消費税抜き)

項 目		令和6年度	令和5年度	対 前 年 度 増 減
病 床 数		323 床	369 床	△ 12.5 %
年 間 延 患 者 数	入 院	81,803 人	82,651 人	△ 1.0 %
	外 来	138,691 人	133,638 人	3.8 %
	計	220,494 人	216,289 人	1.9 %
1 日 平 均 患 者 数	入 院	224.1 人	225.8 人	△ 0.8 %
	外 来	570.7 人	550.0 人	3.8 %
病 床 利 用 率		69.4 %	61.2 %	—
職 員 数	医 師	41 人	38 人	3 人
	看 護 部 門	264 人	268 人	△ 4 人
	薬 剤 部 門	12 人	11 人	1 人
	医 療 技 術 部 門	62 人	61 人	1 人
	給 食 部 門	5 人	5 人	0 人
	事 務 部 門	25 人	25 人	0 人
	計	409 人	408 人	1 人
患 者 1 日 1 人 当 たり 収 益		33,836 円	33,842 円	△ 0.0 %
患 者 1 日 1 人 当 たり 費 用		41,619 円	40,707 円	2.2 %

備

考

一般病床 269床、 精神病床 50床、 感染症病床 4床  
(※一般…休床中の46床を削減後)

$$\text{1日平均入院患者数} = \frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{入院診療日数}} \quad \begin{array}{l} \text{※入院診療日数} \\ \text{6年度 365日 5年度 366日} \end{array}$$

$$\text{1日平均外来患者数} = \frac{\text{年間延外来患者数}}{\text{外来診療日数}} \quad \begin{array}{l} \text{※外来診療日数} \\ \text{6年度 243日 5年度 243日} \end{array}$$

$$\text{病 床 利 用 率} = \frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$$

$$\text{患者1日1人当たり収益} = \frac{\text{医 業 収 益}}{\text{年 間 延 患 者 数}}$$

$$\text{患者1日1人当たり費用} = \frac{\text{医 業 費 用}}{\text{年 間 延 患 者 数}}$$

第5表 診療科別患者数・診療収益比較表 (消費税及び地方消費税抜き)

(1) 患者数

区 分	入 院				外 来			
	令和6年度		令和5年度	対前年度	令和6年度		令和5年度	対前年度
	患者数	構成比	患者数	増減率	患者数	構成比	患者数	増減率
	人	%	人	%	人	%	人	%
消化器内科	2,603	3.2	5,297	△ 50.9	8,089	5.8	9,960	△ 18.8
呼吸器内科	2,951	3.6	2,170	36.0	5,391	3.9	3,554	51.7
循環器内科	6,798	8.3	7,319	△ 7.1	7,087	5.1	6,752	5.0
糖尿病内科	1,349	1.7	838	61.0	5,213	3.8	4,969	4.9
神経内科	—	—	—	—	1,983	1.4	1,775	11.7
総合診療科	16,351	20.0	10,485	55.9	9,832	7.1	8,589	14.5
小児科	570	0.7	842	△ 32.3	7,443	5.4	6,694	11.2
外科	13,242	16.2	13,612	△ 2.7	12,391	8.9	12,629	△ 1.9
緩和医療科	40	0.1	937	△ 95.7	147	0.1	386	△ 61.9
整形外科	11,931	14.6	14,526	△ 17.9	12,433	9.0	12,272	1.3
産婦人科	1,002	1.2	897	11.7	4,336	3.1	4,321	0.3
眼科	919	1.1	110	735.5	7,858	5.7	4,131	90.2
耳鼻咽喉科	—	—	—	—	2,394	1.7	2,194	9.1
泌尿器科	4,739	5.8	4,377	8.3	14,493	10.4	14,291	1.4
メンタルヘルス科	7,300	8.9	7,220	1.1	23,270	16.8	22,959	1.4
脳神経外科	11,971	14.6	13,977	△ 14.4	6,020	4.3	6,486	△ 7.2
皮膚科	37	0.0	34	8.8	5,556	4.0	5,463	1.7
放射線科	—	—	—	—	1,876	1.4	1,797	4.4
麻酔科	0	0.0	10	皆減	0	0.0	1,078	皆減
リハビリテーション科	—	—	—	—	2,879	2.1	3,338	△ 13.8
<b>合 計</b>	<b>81,803</b>	<b>100.0</b>	<b>82,651</b>	<b>△ 1.0</b>	<b>138,691</b>	<b>100.0</b>	<b>133,638</b>	<b>3.8</b>
1日平均	224.1	—	225.8	△ 0.8	570.7	—	550.0	3.8

(注) 日数 入院 6年度 365日 5年度 366日  
 外来 6年度 243日 5年度 243日

(2) 診 療 収 益

区 分	入 院				外 来			
	令和6年度		令和5年度	対前年度	令和6年度		令和5年度	対前年度
	金 額	構成比	金 額	増 減 率	金 額	構成比	金 額	増 減 率
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
消化器内科	198,966	4.1	400,137	△ 50.3	83,141	3.7	133,350	△ 37.7
呼吸器内科	170,293	3.5	118,077	44.2	164,520	7.4	77,648	111.9
循環器内科	420,368	8.7	446,191	△ 5.8	128,814	5.8	126,327	2.0
糖尿病内科	59,345	1.2	35,965	65.0	65,858	3.0	59,234	11.2
神経内科	—	—	—	—	12,932	0.6	14,598	△ 11.4
総合診療科	815,559	16.8	527,344	54.7	123,671	5.6	111,081	11.3
小 児 科	37,985	0.8	49,943	△ 23.9	72,096	3.2	73,301	△ 1.6
外 科	965,677	19.9	943,956	2.3	430,875	19.4	429,137	0.4
緩和医療科	1,575	0.0	40,684	△ 96.1	1,178	0.1	3,382	△ 65.2
整形外科	599,102	12.4	681,790	△ 12.1	164,820	7.4	166,698	△ 1.1
産婦人科	95,863	2.0	91,816	4.4	56,761	2.6	56,888	△ 0.2
眼 科	146,919	3.0	23,884	515.1	173,536	7.8	90,861	91.0
耳鼻咽喉科	326	0.0	81	302.5	13,839	0.6	14,325	△ 3.4
泌尿器科	350,360	7.2	272,090	28.8	361,809	16.3	387,310	△ 6.6
メンタルヘルス科	206,183	4.3	201,826	2.2	177,931	8.0	182,989	△ 2.8
脳神経外科	553,491	11.4	598,975	△ 7.6	77,778	3.5	70,487	10.3
皮膚科	1,847	0.1	2,745	△ 32.7	42,543	1.9	35,902	18.5
放射線科	19,600	0.4	20,220	△ 3.1	57,418	2.6	48,921	17.4
麻 酔 科	0	0.0	622	△ 100.0	0	0.0	4,893	△ 100.0
リハビリテーション科	203,384	4.2	178,928	13.7	10,318	0.5	10,718	△ 3.7
合 計	4,846,843	100.0	4,635,274	4.6	2,219,838	100.0	2,098,050	5.8
平均(1日1人)	59,250 円	—	56,082 円	5.6	16,006 円	—	15,699 円	2.0

第6表 貸借対照表比較表 (消費税及び地方消費税抜き)

科 目		借 方				対 前 年 度	
		令和6年度		令和5年度		増 減 額	増 減 率
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
年 度	円	%	円	%	円	%	
資 産 の 部	固 定 資 産	7,336,215,809	82.8	7,856,628,965	85.4	△ 520,413,156	△ 6.6
	有 形 固 定 資 産	7,331,099,597	82.8	7,851,438,285	85.3	△ 520,338,688	△ 6.6
	土 地	234,322,818	2.6	234,322,818	2.5	0	0.0
	建 物	5,357,799,123	60.5	5,747,693,000	62.5	△ 389,893,877	△ 6.8
	構 築 物	23,069,548	0.3	26,349,152	0.3	△ 3,279,604	△ 12.4
	器 械 備 品	1,644,754,262	18.6	1,818,152,304	19.8	△ 173,398,042	△ 9.5
	車 両	1,840,565	0.0	2,153,765	0.0	△ 313,200	△ 14.5
	リ ー ス 資 産	68,270,011	0.8	21,723,976	0.2	46,546,035	214.3
	その他有形固定資産	1,043,270	0.0	1,043,270	0.0	0	0.0
	無 形 固 定 資 産	2,716,212	0.0	2,790,680	0.1	△ 74,468	△ 2.7
	リ ー ス 資 産	2,716,212	0.0	2,790,680	0.1	△ 74,468	△ 2.7
	投 資 そ の 他 の 資 産	2,400,000	0.0	2,400,000	0.0	0	0.0
	長 期 貸 付 金	2,400,000	0.0	2,400,000	0.0	0	0.0
	流 動 資 産	1,516,389,926	17.2	1,345,973,040	14.6	170,416,886	12.7
	現 金 預 金	14,167,989	0.2	9,030,659	0.1	5,137,330	56.9
	未 収 金	1,380,225,375	15.6	1,214,131,811	13.2	166,093,564	13.7
	医 業 未 収 金	1,358,131,170	15.3	1,203,593,407	13.1	154,537,763	12.8
	医 業 外 未 収 金	23,318,990	0.3	11,373,941	0.1	11,945,049	105.0
	そ の 他 未 収 金	96,841	0.0	468,664	0.0	△ 371,823	△ 79.3
	貸 倒 引 当 金	△ 1,321,626	0.0	△ 1,304,201	0.0	△ 17,425	△ 1.3
貯 蔵 品	121,996,562	1.4	122,810,570	1.3	△ 814,008	△ 0.7	
薬 品	54,388,335	0.6	61,262,811	0.6	△ 6,874,476	△ 11.2	
診 療 材 料	67,049,174	0.8	61,317,720	0.7	5,731,454	9.3	
給 食 材 料	559,053	0.0	230,039	0.0	329,014	143.0	
資 産 合 計	8,852,605,735	100.0	9,202,602,005	100.0	△ 349,996,270	△ 3.8	

		貸 方					
科 目		令和6年度		令和5年度		対 前 年 度	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
		円	%	円	%	円	%
負 債 の 部	固 定 負 債	8,745,346,007	98.8	9,494,772,405	103.2	△ 749,426,398	△ 7.9
	企 業 債	7,751,416,903	87.6	8,526,550,435	92.7	△ 775,133,532	△ 9.1
	リ ー ス 債 務	44,963,104	0.5	13,134,970	0.1	31,828,134	242.3
	引 当 金	948,966,000	10.7	955,087,000	10.4	△ 6,121,000	△ 0.6
	流 動 負 債	3,846,788,454	43.4	2,523,442,590	27.4	1,323,345,864	52.4
	一 時 借 入 金	1,860,000,000	21.0	650,000,000	7.1	1,210,000,000	186.2
	企 業 債	1,027,133,532	11.6	1,046,157,199	11.4	△ 19,023,667	△ 1.8
	リ ー ス 債 務	18,064,430	0.2	8,541,069	0.1	9,523,361	111.5
	未 払 金	555,689,620	6.3	484,153,672	5.2	71,535,948	14.8
	医 業 未 払 金	336,796,171	3.8	252,732,493	2.7	84,063,678	33.3
	貯 蔵 品 購 入 未 払 金	122,357,309	1.4	140,696,279	1.5	△ 18,338,970	△ 13.0
	医 業 外 未 払 金	2,620,151	0.0	1,665,622	0.0	954,529	57.3
	そ の 他 未 払 金	89,599,289	1.0	82,412,378	0.9	7,186,911	8.7
	未 払 消 費 税	4,316,700	0.1	6,646,900	0.1	△ 2,330,200	△ 35.1
	引 当 金	338,323,000	3.8	271,361,000	2.9	66,962,000	24.7
	そ の 他 流 動 負 債	47,577,872	0.5	63,229,650	0.7	△ 15,651,778	△ 24.8
	預 り 金	46,177,872	0.5	61,729,650	0.7	△ 15,551,778	△ 25.2
	そ の 他 の 流 動 負 債	1,400,000	0.0	1,500,000	0.0	△ 100,000	△ 6.7
	繰 延 収 益	617,525,228	7.0	471,200,652	5.1	146,324,576	31.1
	長 期 前 受 金	2,374,385,157	26.8	1,709,176,444	18.6	665,208,713	38.9
収 益 化 累 計 額	△ 1,756,859,929	△ 19.8	△ 1,237,975,792	△ 13.5	△ 518,884,137	△ 41.9	
負 債 合 計		13,209,659,689	149.2	12,489,415,647	135.7	720,244,042	5.8
資 本 の 部	資 本 金	100,000,000	1.1	100,000,000	1.1	0	0.0
	固 有 資 本 金	100,000,000	1.1	100,000,000	1.1	0	0.0
	剰 余 金	△ 4,457,053,954	△ 50.3	△ 3,386,813,642	△ 36.8	△ 1,070,240,312	△ 31.6
	資 本 剰 余 金	62,885,706	0.7	62,885,706	0.7	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	62,885,706	0.7	62,885,706	0.7	0	0.0
	欠 損 金	4,519,939,660	△ 51.0	3,449,699,348	△ 37.5	1,070,240,312	31.0
	当 年 度 未 処 理 欠 損 金	4,519,939,660	△ 51.0	3,449,699,348	△ 37.5	1,070,240,312	31.0
資 本 合 計		△ 4,357,053,954	△ 49.2	△ 3,286,813,642	△ 35.7	△ 1,070,240,312	△ 32.6
負 債 資 本 合 計		8,852,605,735	100.0	9,202,602,005	100.0	△ 349,996,270	△ 3.8

第7表 経営分析表 (消費税及び地方消費税抜き)

項目		算式	令和6年度	令和5年度
構成比率	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	82.9%	85.4%
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	17.1	14.6
	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	△ 49.2	△ 35.7
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}} \times 100$	98.8	103.2
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}} \times 100$	43.4	27.4
	繰延収益構成比率	$\frac{\text{繰延収益}}{\text{総収益}} \times 100$	7.0	5.1
財務比率	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	167.2	126.6
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	△ 168.4	△ 239.0
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	39.4	53.3
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	△ 303.2	△ 380.0
収益率	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	89.1	93.3
	医療収支比率	$\frac{\text{医療収益}}{\text{医療費用}} \times 100$	81.3	83.1
その他	企業債償還額対償還財源比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{当年度償還額} + \text{当年度純利益}} \times 100$	△ 386.1	574.9
	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{医療収益}} \times 100$	66.4	64.6
	不良債務比率	$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{医療収益}} \times 100$	31.2	16.5

(注) 総資産 = 固定資産 + 流動資産  
 総資本 = 負債 + 資本  
 自己資本 = 固有資本金 + 出資金 + 剰余金

基	数	
$\frac{7,336,215,809 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	それぞれの総資産に対する固定資産・流動資産の占める割合であり、固定資産構成比率が大であれば、資本が固定化の傾向にあり、流動資産構成比率が大であれば、流動性は良好であるとされている。なお、両者の比率の合計は100となる。
$\frac{1,516,389,926 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	
$\frac{\triangle 4,357,053,954 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	総資本とこれを構成する固定負債・流動負債・自己資本、繰延収益の関係を示すもので、自己資本構成比率が大であるほど、経営の安全性が大きいとされている。なお、四者の比率の合計は100となる。
$\frac{8,745,346,007 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	
$\frac{3,846,788,454 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	
$\frac{617,525,228 \text{ 円}}{8,852,605,735 \text{ 円}}$	$\times 100$	
$\frac{7,336,215,809 \text{ 円}}{\triangle 4,357,053,954 \text{ 円} + 8,745,346,007 \text{ 円}}$	$\times 100$	固定資産の調達に、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下であることが望ましく、100%を超えた場合は、固定資産に対して過大投資が行われたものとされている。
$\frac{7,336,215,809 \text{ 円}}{\triangle 4,357,053,954 \text{ 円}}$	$\times 100$	固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましいとされている。
$\frac{1,516,389,926 \text{ 円}}{3,846,788,454 \text{ 円}}$	$\times 100$	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するもので、200%以上が理想比率とされている。
$\frac{13,209,659,689 \text{ 円}}{\triangle 4,357,053,954 \text{ 円}}$	$\times 100$	負債を自己資本より超過させないことが、健全経営の第一義であるので、100%以下を理想とする。
$\frac{8,706,406,769 \text{ 円}}{9,776,647,081 \text{ 円}}$	$\times 100$	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すもので、比率が高いほど経営状態は良好である。
$\frac{7,460,721,080 \text{ 円}}{9,176,779,107 \text{ 円}}$	$\times 100$	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すもので、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
$\frac{1,046,157,199 \text{ 円}}{799,277,645 \text{ 円} + \triangle 1,070,240,312 \text{ 円}}$	$\times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益との合計額を比較したものである。
$\frac{4,951,675,815 \text{ 円}}{7,460,721,080 \text{ 円}}$	$\times 100$	医業収益に対する人件費の割合を示すものである。
$\frac{3,846,788,454 \text{ 円} - 1,516,389,926 \text{ 円}}{7,460,721,080 \text{ 円}}$	$\times 100$	企業経営の健全性を確保するためには、不良債務のないことが不可欠であるので、不良債務比率が高いということは、それだけ企業の経営が悪化していることを示している。

第8表 経営指標に関する分析表 (消費税及び地方消費税抜き)

項 目	算 式	令和6年度	令和5年度
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} = \frac{8,698,992,315 \text{ 円}}{9,769,523,442 \text{ 円}} \times 100$	89.0 %	92.5 %
修正医業収支比率	$\frac{\text{医業収益①}}{\text{医業費用}} = \frac{7,271,054,080 \text{ 円}}{9,176,779,107 \text{ 円}} \times 100$	79.2	79.2
病床利用率	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数}} = \frac{81,803 \text{ 人}}{117,895 \text{ 床}} \times 100$	69.4	61.2

(注) 経常収益＝医業収益＋医業外収益  
 経常費用＝医業費用＋医業外費用  
 医業収益①＝医業収益－一般会計負担金  
 年間延病床数＝総病床数×年間診療日数